当日配布板

第 46 回全国建築板金競技大会

実施要綱

2024年3月2日（土）・3日（日）

静岡県富士宮市「富士教育訓練センター」

一般社団法人日本建築板金協会

全日本板金工業組合連合会

全国建築板金競技大会　実施要綱

1.　目的

我が国の伝統ある建築板金の技能を後世に残し、将来の建築板金を担う若手の後継者の発掘と育成を図るため、その技能を発表する機会を設け、その技術力を競技・研鑽させる。それにより国民生活に欠かすことのできない「住」に係わる優秀な建築板金の人材育成を行い、我が国の住環境の品質の向上・安心・安全に資するものとする。

□　技能競技の部（ZIC）

技能者が新しい時代の要請に応えていくためには、技能の基本に立脚し、創意・工夫を重ねていかねばならない。具体的には建築板金業における「ものづくり」の基礎を成す＜技能＞の継承及び国民生活向上に重要な役割を担う建築板金業の基本能力である＜技能＞の振興に対する決意と取り組みを内外に表明する。

□　建築技術の部（NYAC）

建築板金業における良質工事の確保に必要な施工管理技術の向上に資すると共に、建築の様式や工夫の変化に対応した施工技術の向上と有能な技術者を建築板金業界に確保し、国民の住生活の向上と、重要な役割を担う建築板金業の施工管理能力＜責任施工能力＞の向上に対する決意と取り組みを内外に表明する。

2.　実行機関

□　主催　　一般社団法人日本建築板金協会（日板協）
　　全日本板金工業組合連合会（全板連）
□　後援　　厚生労働省・国土交通省・静岡県・富士宮市
（予定）　　職業訓練法人全国建設産業教育訓練協会
□　設営　　日板協／全板連青年部
□　協力　　各板金工業組合協議会青年部
　　（北海道・東北・関東甲信越・中部・西部・四国・九州（順不同））

3.　選手の参加資格

建築板金に興味がある者であれば誰でも参加可能（職業訓練生・学生も可※）。
ただし、過去の大会における部門第1位入賞者でないこと。
参加申込み者が会場収容スペースを上回った場合は、先着順とする。
※未成年者の場合は保護者の同伴が必要となります。

4.　開催期日

2024年3月2日（土）・3日（日）

5. 開催場所（宿泊場所）

〒418-0101　静岡県富士宮市根原492-8「富士教育訓練センター」

TEL:0544-52-0968　　FAX:0544-52-1336

http://www.fuji-kkc.ac.jp/

6. 参加申し込み　等

(1) 所定の参加申込み用紙でお申込みください（FAX可）。

(2) 参加申込並びに参加費振込期限 …… 2023年10月31日（火）17時

・ 期限以降の参加取消しの場合、参加費用は返金いたしかねますので予めご了承ください。

・ 上記期限までに参加申込および参加費の振込が確認できない場合、参加を受理できませんので十分にご注意ください。

・ **本大会は通常開催を前提としてご案内するものですが、新型コロナウイルス感染症の感染状況いかんによっては、参観者や選手数の制限を設ける可能性がある事をご了承ください。**

(3) 参加費

① 選手：**一人23,100円**（21,000円（本体）＋2,100円（消費税）・支給材料費、宿泊代、2日間の傷害保険料等を含む）

② 参観者：**一人23,100円**（21,000円（本体）＋2,100円（消費税）・宿泊代、2日間の傷害保険料等を含む）※ 選手、参観者ともに一泊三食（夕・朝・昼）。

(4) 参加費の振込先

りそな銀行　麻布支店（普通）1715495「一般社団法人日本建築板金協会」

7. 競技課題及び持参道具

□ 技能競技の部（ZIC）

1) 銅板による「ランタン」の作成（展開図の作成を含む）とし、その詳細は課題冊子によります。

2) 課題冊子に記載された「指定工具一覧」以外の工具類の使用はできません。

※不明な点は必ず事前に確認してください。

□ 建築技術の部（NYAC）

1) 「設計事務所の新築物件」に関する施工図2枚を作成することとし、その詳細は課題冊子によります。

2) 道具類は課題冊子に記載された「選手が持参するもの」等をご確認ください。

事前に送付する場合は諸事項を明記し、開会式前日に届くようにしてください。

（現地便数の都合で、当日着指定は間に合わない場合があります）

【送付先】

〒418-0101　静岡県富士宮市根原492-8　「富士教育訓練センター」

TEL:0544-52-0968　　FAX:0544-52-1336

「富士教育訓練センター　気付 日板協　〇〇・〇〇〇〇（組合・氏名）」

注意富士教育訓練センターから自宅への宅急便はヤマト運輸の着払いのみとなります。
返送に係る制限があります（3辺の長さの合計が200㎝/重量は30kg以内）。

8.　参加申し込み後の提出物【2023年8月以降のセンター運用ガイドラインに依る】

5月8日から新型コロナウイルス感染症が第5類に変更となることを受け、会場となる富士教育訓練センターでは運用ガイドライン4版を継続しながら、5月8日以降一部変更を加え、運営がなされると伺っております。

このため、これまで求めていた事前提出書類等については、今後示される富士教育訓練センターの変更方針を確認の上で改めてご案内させていたします。

※富士教育訓練センターからの補足事項として【別紙参照】

本開催要綱発出に際して、富士教育訓練センター担当者より別紙の事前案内を求められましたのでご確認ください。

9. 審査基準及び方法

大会の円滑なる運営を図り厳正公平な審査を期するため本部委員会、実行委員会、審査委員会を設置し別途定めるものによる。

(1) 本部委員会の構成

本部委員会の構成は、日板協会長、日板協役員（青年部担当）、日板協青年部部長より委任された者をもって構成する。

(2) 実行委員会の構成

日板協青年部役員がこれにあたる。

(3) 審査委員会の構成

外部審査員（予定）

技能競技の部：職業訓練法人全国建設産業教育訓練協会指名者

建築技術の部：国土交通省、職業訓練法人全国建設産業教育訓練協会、各指名者

内部審査委員

日板協会長、日板協役員（青年部担当）、日板協青年部役員

(4) 審査結果の発表

時期：2024年3月下旬（予定）

※審査結果に関する得点の内訳は公表しません。

課題の返却について

各部門の上位５作品に限り、返却希望者へ作品の返却を行います。

時期：５月の全国大会展示終了後

内容：返却申請のあった入賞者本人へ着払いにて発送

方法：結果発表から2024年5月1日（水）17時までに発送先住所、氏名を記載の上、所属組合を通じて日板協宛にFAX【03-3456-2781】にて返却申請と共に返却費3,300円をお振込みください。

りそな銀行　麻布支店（普通）1715495「一般社団法人日本建築板金協会」。

問合せ：不明点は日板協事務局：黒木・福間・鳥居【03-3453-7698】まで

(5) その他

採点については審査基準によることを原則とするが、採点項目以外の事項で不適切と認められる事項があった場合には、採点用紙に当該事項を明記しておき、競技終了後審査委員が合議して減点するか否かを決定する。

減点する場合は、審査基準に示す採点項目との均衡を考慮して、減点数を決定するものとする。

開・閉会式や道具検査への遅刻については審査基準に示す採点項目との均衡を考慮して、減点数を決定するものとする。

10. 表彰

上位入賞者は次のとおり表彰する。

① 内部表彰

両部門第1位から第10位までを入賞とする。

第1位から第5位までを日板協会長名による賞状と記念品を、第6位から第10位までを日板協会長名による賞状を授与する。

② 外部表彰（予定）

□ 技能競技の部（ZIC）

第1位　厚生労働大臣賞

第2位　厚生労働省　人材開発統括官賞

第3位　静岡県知事賞

第4位　富士宮市長賞

第5位　職業訓練法人全国建設産業教育訓練協会会長賞

□ 建築技術の部（NYAC）

第1位　国土交通大臣賞

第2位　国土交通省　不動産・建設経済局長賞

第3位　静岡県知事賞

第4位　富士宮市長賞

第5位　職業訓練法人全国建設産業教育訓練協会会長賞

③ 表彰式（予定）

両部門第1位～第5位の上位入賞者に対して下記の通り表彰を行う。

外部表彰：全国建築板金業者大会（第1位は登壇して受賞）

※大会参加に係る参加費/交通費は本人負担となります

内部表彰：日板協青年部通常総会時

11. 不可抗力による開催方法の変更または中止・短縮及び管理責任

地震・台風・火災等の天災、感染症、テロ、諸官庁からの指示・命令、その他不可抗力により開催が困難となった場合は、主催者の判断により開催方法の変更または中止・短縮を行うことがあります。

【開催方法の変更について】

① 緊急事態宣言の発令等を理由として、従来の方法による競技大会開催が困難であると主催者が判断した場合には、開催方法を変更する場合があります。

② 変更に際しては2024年1月26日（金）までに、日板協から各組合事務局宛に変更内容を示した案内文書を発出します。

【中止・短縮について】

① 開催日前々日以前に開催中止となった場合は、弁済すべき必要経費を差し引いた参加費の残額を返金します。

② 開催中（設営日（大会前日）を含む）に発生した不可抗力による開催中止もしくは短縮については、原則として参加費は返金しません。

③ 開催中止・短縮のために参加者が要した費用（交通費・宿泊費・工具発送費等）については補償しません。

④ 天災、事故、盗難、その他不可抗力により、人身や物品に対する傷害・損害が生じても主催者はその責任を負いません。

12. スケジュール（予定）

二日間のスケジュールは下記の通りです。

	時刻	行事・行動	備考
第一日	12:30	集合	JR 新富士駅北口ロータリー
	12:40 ～	バスで移動	
	13:30 ～ 14:10	受付	富士教育訓練センター
	14:20 ～ 15:00	開会式	
	15:10 ～ 15:20	記念撮影（屋外）	（荒天時は体育館で撮影）
	15:50 ～	競技上の説明 ・持参道具点検　等	選手　：各部門会場 参観者：開会式会場
	18:00 ～ 19:30	夕食	食堂
	17:00 ～ 22:00	入浴	浴室
	23:00	消灯（自室へ）	
第二日	6:15 ～ 7:30	朝食	富士教育訓練センター 食堂
	7:50	選手集合	
	8:00 ～ 12:00	競技	各部門会場
	12:05 ～ 13:00	昼食	食堂
	13:30 ～ 14:00	閉会式	講堂
		＜参加者＞	
	14:30 ～	バスで移動	富士教育訓練センター発
	15:30頃	解散	JR 新富士駅北口ロータリー着

※スケジュールは変更になることもありますので、あらかじめご了承ください。

13. 参考資料①：過去の上位入賞者（敬称略）

※第43回全国建築板金競技大会は新型コロナウイルス感染症の感染リスク回避と拡散防止の観点から、参加者並びに関係者の皆様の安全を第一に考え、中止となりました。

【富士教育訓練センター】		技能競技の部	建築技術の部
第45回	第1位	粒来 雄貴（岩手県）	三上 浩平（北海道）
	第2位	西嶋 拓也（山口県）	永徳　太（神奈川県）
	第3位	柳原 大貴（愛知県）	坪井 典之（茨城県）
	第4位	片野 裕勝（北海道）	西川 壮一（京都府）
	第5位	高山 欣也（大阪府）	橋本 直明（三重県）

【富士教育訓練センター】		技能競技の部	建築技術の部
第44回	第1位	井狩憲治（滋賀県）	吉岡智佳（富山県）
	第2位	粒来雄貴（岩手県）	永徳　太（神奈川県）
	第3位	片野裕勝（北海道）	橋本直明（三重県）
	第4位	西嶋拓也（山口県）	三上浩平（北海道）
	第5位	柳原大貴（愛知県）	該当者無し

【富士教育訓練センター】		技能競技の部	建築技術の部
第42回	第1位	古市友之（北海道）	桂田　睦（滋賀県）
	第2位	粒来雄貴（岩手県）	千喜良幹嗣（新潟県）
	第3位	島津隆行（奈良県）	武井陽一（埼玉県）
	第4位	西嶋拓也（山口県）	斉藤哲広（茨城県）
	第5位	坂東右京（大分県）	吉岡智佳（富山県）

【富士教育訓練センター】		技能競技の部	建築技術の部
第41回	第1位	桂田　睦（滋賀県）	笹島征太郎（茨城県）
	第2位	向　充章（大阪府）	千喜良幹嗣（新潟県）
	第3位	草地雄太（岡山県）	安藤正和（山梨県）
	第4位	清野悠太（秋田県）	吉岡智佳（富山県）
	第5位	西嶋拓也（山口県）	島田裕司（石川県）

【富士教育訓練センター】		技能競技の部	建築技術の部
第40回	第1位	佃　幸二（石川県）	唐島盛一（富山県）
	第2位	桂田　睦（滋賀県）	足立　徹（大阪府）
	第3位	草地雄太（岡山県）	島村克良（長野県）
	第4位	川角和久（島根県）	森永龍一（長崎県）
	第5位	佐々木利浩（愛知県）	吉岡智佳（富山県）

・14.参考資料②　歴代優勝者一覧（敬称略）

※直近5年間の上位入賞者は前ページに掲載、（カッコ）内は都道府県

年度	回数	技能競技の部（ZIC）優勝者	建築技術の部（NYAC）優勝者
昭和54年度	第1回	住田洋一　（三重県）	平成3年度（第1回） ～平成7年度（第5回） 「全国建築技術コンクール」 として開催 平成8年度より 「建築技術の部（NYAC）」として開催回数を統一化
昭和55年度	第2回	菊地修晴　（青森県）	
昭和56年度	第3回	海野英男　（長野県）	
昭和57年度	第4回	佐藤彰三　（長野県）	
昭和58年度	第5回	別井閑伯　（大阪府）	
昭和59年度	第6回	池田　勝　（香川県）	
昭和60年度	第7回	渡辺幸雄　（福島県）	
昭和61年度	第8回	橋谷輝昭　（香川県）	
昭和62年度	第9回	岩間郁彦　（三重県）	
昭和63年度	第10回	木村昭一　（千葉県）	
平成1年度	第11回	神谷　聡　（愛知県）	
平成2年度	第12回	宮村浩樹　（大阪府）	
平成3年度	第13回	徳永正典　（香川県）	松代一郎　（愛知県）
平成4年度	第14回	平瀬秀樹　（愛知県）	大沢　裕　（青森県）
平成5年度	第15回	仲田　満　（島根県）	園部良男　（茨城県）
平成6年度	第16回	吉澤澄夫　（東京都）	須賀原尚弘　（福井県）
平成7年度	第17回	今泉信一　（福島県）	尾形　誠　（福島県）
平成8年度	第18回	佐藤　剛　（秋田県）	金子正勝　（岩手県）
平成9年度	第19回	越前谷満　（秋田県）	小林　茂　（群馬県）
平成10年度	第20回	片山匡裕　（愛知県）	助川啓一　（茨城県）
平成11年度	第21回	伊藤博美　（秋田県）	平瀬秀樹　（岐阜県）

歴代優勝者一覧（敬称略）

※第36回全国建築板金競技大会は悪天候のため中止

年度	回数	技能競技の部（ZIC）優勝者	建築技術の部（NYAC）優勝者
平成12年度	第22回	鈴木健友　（秋田県）	桑原敏彦　（群馬県）
平成13年度	第23回	川崎　弘　（兵庫県）	桑原勝則　（群馬県）
平成14年度	第24回	佐々木悦雄　（秋田県）	加藤丈晴　（岐阜県）
平成15年度	第25回	佐藤正太郎　（福島県）	宇野勝義　（愛知県）
平成16年度	第26回	金井保栄　（静岡県）	山﨑一夫　（島根県）
平成17年度	第27回	宇佐美裕幸　（秋田県）	中山直樹　（島根県）
平成18年度	第28回	谷口宜伸　（広島県）	大西孝則　（奈良県）
平成19年度	第29回	山本新一　（青森県）	和田真輝　（京都府）
平成20年度	第30回	山本真士　（北海道）	髙見　学　（京都府）
平成21年度	第31回	佐々木剛　（愛媛県）	熊谷義秀　（北海道）
平成22年度	第32回	一ノ関晃多　（秋田県）	北村英明　（埼玉県）
平成23年度	第33回	岩本成人（福井県）	羽賀　満（新潟県）
平成24年度	第34回	橋谷冬紀（香川県）	武井　士（山梨県）
平成25年度	第35回	唐島盛一（富山県）	元木敏仁（東京都）
平成27年度	第37回	久保田春紀（長野県）	國松慶誇（東京都）
平成28年度	第38回	森永龍一（長崎県）	久保田春紀（長野県）
平成29年度	第39回	堀井貴義（愛知県）	飛留間和紀（千葉県）

15. 参加者の心得

全国建築板金競技大会 出場選手および参観者の心得

一般社団法人日本建築板金協会

全国建築板金競技大会に参加する選手並びに参観者の基本的な心得を次の通りと定める。
大会期間中、競技会場内・宿泊施設およびこれらに付随する諸施設内にあっては社会人としての秩序や友愛をモットーとし、互いに協力し合い、大会にふさわしい環境をつくるように心がけること。
また、大会の風紀を乱し、選手の本分に反しないように服装、言葉遣いなどについては十分留意し、かつ、品位を保ち、自覚ある行動をとるように心がけること。さらに、参観者は選手に対する心遣いと心配りを行い、選手以上に選手たる行動をとるものとする。

【注意する事項】

1. 集合や競技における時間についてはもちろんのこと、食事や入浴、消灯時間等の規則を厳守すること。
2. 大会および宿泊施設の備品類やその他の公共物の破損、紛失等は絶対に避けること。 万が一破損・紛失をした場合は、速やかに大会実行委員まで申し出ること。
3. 競技会場には集合時間前や終了後または休憩時間中に立ち入らないこと。
4. 宿泊室および競技会場をはじめとする施設内は禁煙となっているので、タバコは決められた場所で喫煙し、火災の防止に努めること。
5. 期間中は他の研修生、センター職員には必ず声を出して挨拶をすること。
6. 期間中はできるだけセンターからの外出を避けること。
7. 部屋の鍵は各自で管理し大会終了後は必ず返却する（絶対に持ち帰らない）こと。期間中は、貴重品以外の荷物は部屋に置いたまま必ず施錠すること。
8. 浴室利用は午後5時から午後10時までと決められているので厳守すること。
9. 食堂の利用時間は以下の通り
   朝:午前6時15分～午前7時半、 昼:12時5分～午後1時、夕:午後6時～午後7時半
10. 消灯時間（午後11時）を厳守すること。
11. 主催者の指示に従うこと。従わない場合、参加の取消を求める場合があります。その場合の参加費等、参加者が要した費用全てについて主催者は補償しません。
12. 不明な点は大会実行委員に申し出ること。
13. 大会期間中はセンターでは全面禁酒のため、飲酒しないこと。
14. 個人によるビデオカメラやスマートフォンなどによる動画撮影や録音、それらデータの各種ウェブサイト等への投稿や掲載は肖像権侵害など、法律違反となる場合があります。
15. 公式記録のため、ご来場の方々が撮影され、使用される場合があることを予めご了承ください。

以上

16. 富士教育訓練センター会場

共用棟エントランス（選手受付場所）までの案内

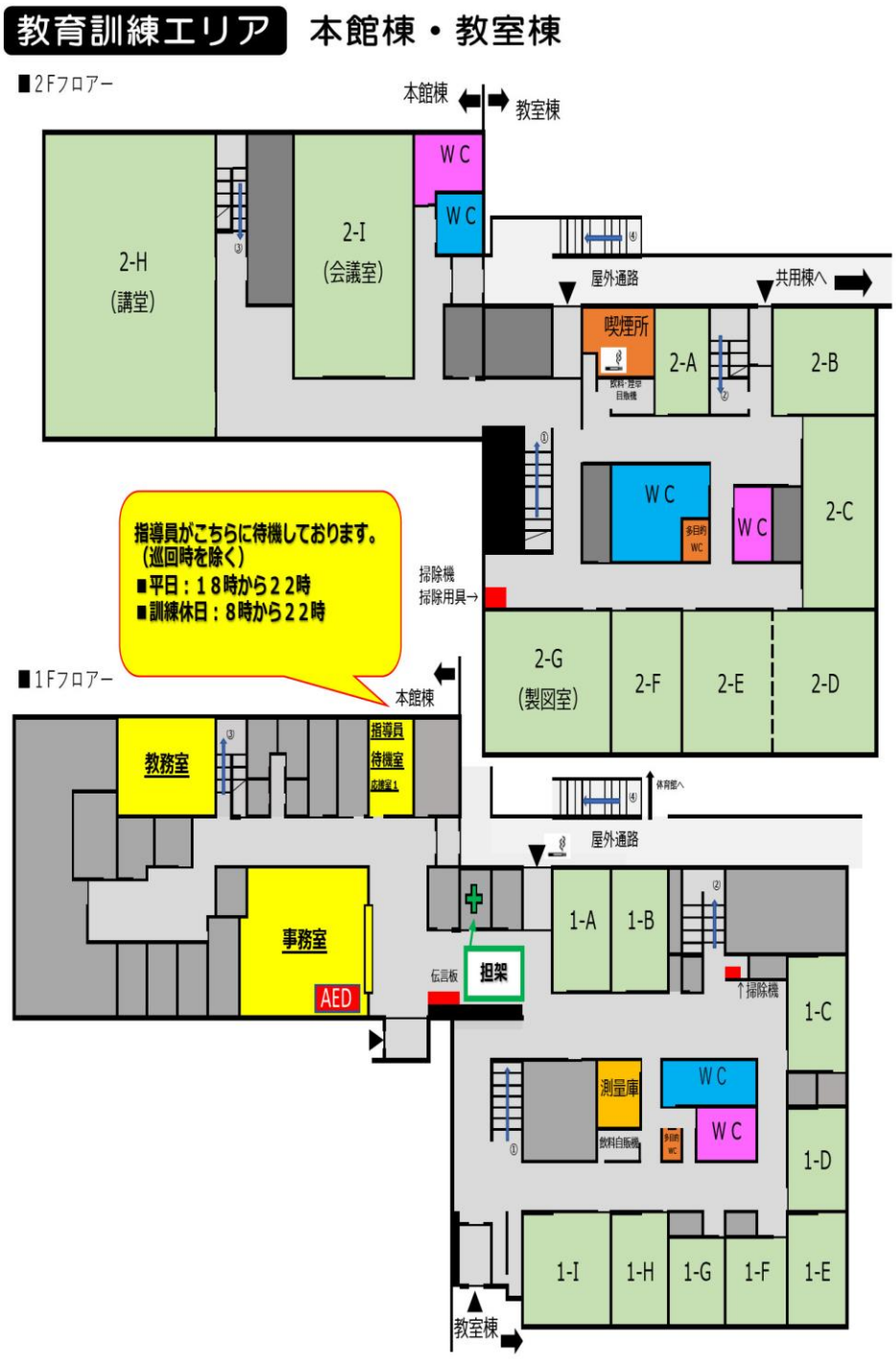
①「朝霧高原道の駅」の隣（北西）に
富士教育訓練センターがあります。
入場し、直ぐ左折してください。
※制限速度は１５kmとなっております。
※施設内は徐行でお願い致します。

②建物（本館）の北側に駐車場（下記赤枠）がございます。そちらに駐車してください。
※満車になり次第、誘導スタッフが案内致します。

③本館西側の通路から
来客用駐車場（本館の南側）へとおまわりください。

④来客用駐車場を通り抜け、
教室棟南側を抜けてください。
階段の手前に共用棟の入り口がございます。

受付後、宿泊棟に荷物を置き、
講堂（開会式会場）へ移動となります。
その際の案内は受付にてお配り致します。



・左上の2H（講堂）が開閉会式会場

・2Fフロアーの屋外通路より共用棟へ

全国建築板金競技大会参加者一覧

◇外部来賓　　（敬称略）

所属	役職	氏名	備考
(職)全国建設産業教育訓練協会	専務理事	菅井 文明	
(職)全国建設産業教育訓練協会	富士教育訓練センター校長	小松原 学	
(職)全国建設産業教育訓練協会	教務部部長	渡邉 敏幸	
(職)全国建設産業教育訓練協会	総務部総務課課長代理	星 貴博	

◇主催

所属	役職	氏名	備考
(一社) 日本建築板金協会	会長	天野 宏昌	大会会長
(一社) 日本建築板金協会	理事	川島 隆司	大会審査委員長
(一社) 日本建築板金協会	専務理事	小畠 義郎	

全国建築板金競技大会参加者一覧

◇実行　一般社団法人日本建築板金協会青年部

役職	氏名	ブロック	都道府県	備考
部長	國松 慶誇	関東甲信越	東京都	日板協理事
副部長	石井 邦彦	北海道	北海道	
副部長	萩原 武史	関東甲信越	神奈川県	
副部長	横瀬 雅哉	中部	岐阜県	
副部長	有間 太法	西部	広島県	大会統括責任者・ 建築技術の部担当
副部長	一ノ関 晃多	東北	秋田県	
副部長	野元 祐哉	九州	宮崎県	建築技術の部責任者
副部長	橋谷 冬紀	四国	香川県	技能競技の部担当
幹事	桑原 隆憲	中部	三重県	
幹事	笹島 征太郎	関東甲信越	茨城県	技能競技の部責任者
監事	今村 俊輔	西部	滋賀県	
監事	遠藤 孝之	東北	福島県	

◇設営協力

ブロック	都道府県	氏名	備考
北海道	北海道	佐々木 隆幸	
東北	青森県	越田 武馬	スタッフリーダー
関東甲信越	千葉県	金坂 和則	
関東甲信越	山梨県	渡邊 記章	
関東甲信越	山梨県	武井 士	
関東甲信越	群馬県	佐藤 祐介	
関東甲信越	群馬県	桑原 崇嘉	
中部	富山県	滝内 誠	
中部	富山県	豆本 和史	
中部	愛知県	成瀬 菜月	
中部	静岡県	内山 哲也	
西部	和歌山県	松下 大希	
四国	徳島県	下川 将吾	
九州	福岡県	権丈 健貢	

3E 01	A	山下　大輔□	ZIC	
	B			
	C	中山　桜太	ZIC	
	D			

3E 02	A	三原　隆太□	ZIC	
	B			
	C	竹内　賢二	ZIC	
	D			

3E 03	A	浅妻　享大□	ZIC	
	B			
	C	兜山　智弘	ZIC	
	D			

3A 11	A	平井 昭寿□	ZIC	
	B			
	C	鈴木　淳一	付添	
	D			

北洗濯室

3A 10	A	石井 太一郎□	ZIC	
	B			
	C	桃原　正男	NYAC	
	D			
3A 09	A	中込　公一	NYAC	
	B			
3A 08	A	監物　太一□	ZIC	
	B			
	C	永徳　太	NYAC	
	D			
3A 07	A	小林　良司	ZIC	
	B			
3A 06	A	立野　裕大	ZIC	
	B			
	C	吉村　泰宏	付添	
	D			
3A 05	A	伊林　佑磨	NYAC	
	B			
3A 04	A	上内　和法	NYAC	
	B			
	C			
3A 03	A	橋本　直明	NYAC	
	B			
	C			
3A 02	A	河野　和博	ZIC	
	B			
	C			
3A 01	A	大場　秀倫	ZIC	
	B			
	C			
3E 04	A	柳原　大貴	ZIC	
	B			
	C	岡田　光司	NYAC	
	D			

機械室

洗面室

WC

3B 08	A	菊地 和浩	ZIC	
	B			
3B 07	A	坪井 典之□	NYAC	
	B			
	C	中田　勝貴	付添	
	D			
3B 06	A	宮城 正夫	ZIC	
	B			
3B 05	A	野溝 顕司□	NAYC	
	B			
	C	益子　到	付添	
	D			
3B 04	A	村田 豊	ZIC	
	B			
3B 03	A	稲葉　一成□	ZIC	
	B			
	C	大関　貴志	付添	
	D			
3B 02	A	山田　陽平	NYAC	
	B			
3B 01	A	木下　昌紀	ZIC	
	B			
	C	唐島　盛一	付添	
	D			

リネン室

洗面室

WC

3E 05	A	山根　秀斗□	ZIC	
	B			
	C	吉水　太郎	付添	
	D			

3E	A	西嶋　拓也	ZIC	
06	B			
	C			
	D			

機械室
洗面室
WC

3C	A	池尻　達也□	ZIC	
07	B			
	C	荒井　俊行	付添	
	D			
3C	A	宇坂　渉	ZIC	
06	B			
3C	A	笹岡　大河□	ZIC	
05	B			
	C	笹岡　弘	付添	
	D			
3C	A	川成　裕也	ZIC	
04	B			
3C	A	齋藤　幸二□	ZIC	
03	B			
	C	大沢　源基	付添	
	D			
3C	A	粒来　雄貴	NYAC	
02	B			
3C	A	野内　玲□	ZIC	
01	B			
	C	安藤　栄二	付添	
	D			

リネン庫
洗濯室
洗面室
WC

3D	A	三上　浩平	ZIC	
12	B			
3D	A	IMAM SAPUTRA	ZIC	
11	B			
	C			
3D	A	片野　裕勝	NYAC	
10	B			
3D	A	高取　敏貴	ZIC	
09	B			
	C			
	D			
3D	A	寺田　賢史	付添	
08	B			
3D	A	出口　雅弥	ZIC	
07	B			
	C			
	D			
3D	A	安武　稔明□	ZIC	
06	B			
3D	A	渡邉　敦史□	ZIC	
05	B			
	C			
	D			
3D	A	木付　雄三	ZIC	
04	B			
3D	A			
03	B			
	C			
	D			
3D	A	高山　欣也□	ZIC	
02	B			
	C			
3D	A	塚本　健太郎□	NYAC	
01	B			
	C			

4E01	A	川島　隆司	日板協理事	
4E02	A	國松　慶誇	日板協役員	
4E03	A	石井　邦彦	日板協役員	
4E04	A	萩原　武史	日板協役員	
UB				
リネン室				
UB				
洗濯室				
サロン				
4A12	A			
4A11	A			
4A10	A	黒木　一樹	日板協事務局	
4A09	A	鳥居　聡	日板協事務局	
4A08	A	佐々木　隆幸	日板協スタッフ	
4A07	A			
4A06	A	越田　武馬	日板協スタッフ	
4A05	A	金坂　和則	日板協スタッフ	
4A04	A	滝内　誠	日板協スタッフ	
4A	A	渡邊　記章	日板協スタッフ	
03	B			
	C			
	D			
4A	A	武井　士	日板協スタッフ	
02	B			
	C			
4A	A	佐藤　祐介	日板協スタッフ	
01	B			
	C			

4E08	A	横瀬　雅哉	日板協役員	
4E09	A	有間　太法	日板協役員	
4E10	A	野元　祐哉	日板協役員	
4E11	A	橋谷　冬紀	日板協役員	
機械室				
洗面室				
WC				
4B10	A	桑原　隆憲	日板協役員	
4B09	A	笹島　征太郎	日板協役員	
4B08	A	今村　俊輔	日板協役員	
4B07	A	遠藤　孝之	日板協役員	
4B06	A	豆本　和史	日板協スタッフ	
4B05	A	内山　哲也	日板協スタッフ	
4B04	A	松下　大希	日板協スタッフ	
4B03	A	下川　将吾	日板協スタッフ	
4B02	A	権丈　健貢	日板協スタッフ	
4B	A	桑原　崇嘉	日板協スタッフ	
01	B			
	C			
	D			
洗濯室				
洗面室				
WC				

■女子寮

4D13	A	成瀬　菜月	日板協スタッフ	
4D12	A	福間　晶子	日板協事務局	

参加選手ゼッケン番号（ZIC）

ZIC	ブロック	都道府県	氏名	ふりがな
1	西部	鳥取県	浅妻　享大	あさずま　こうだい
2	四国	香川県	池尻　達也	いけじり　たつや
3	関東甲信越	東京都	石井　太一郎	いしい　たいちろう
4	北海道	北海道	IMAM SAPUTRA	いまむ　さぷとら
5	西部	岡山県	中山　桜太	なかやま　おうた
6	関東甲信越	栃木県	稲葉　一成	いなば　かずなり
7	四国	徳島県	宇坂　渉	うさか　わたる
8	中部	静岡県	大場　秀倫	おおば　ひでみち
9	四国	徳島県	川成　裕也	かわなり　ゆうや
10	関東甲信越	茨城県	菊地　和浩	きくち　かずひろ
11	九州	熊本県	木付　雄三	きつき　ゆうぞう
12	西部	鳥取県	尭山　智弘	とやま　ともひろ
13	中部	富山県	木下　昌紀	きのした　まさき
14	関東甲信越	神奈川県	監物　太一	けんもつ　たいち
15	西部	兵庫県	河野　和博	こうの　かずひろ
16	関東甲信越	長野県	小林　良司	こばやし　りょうじ
17	西部	広島県	竹内　賢二	たけうち　けんじ
18	東北	青森県	齋藤　幸二	さいとう　こうじ
19	四国	高知県	笹岡　大河	ささおか　たいが
20	九州	佐賀県	高取　敏貴	たかとり　としたか
21	西部	大阪府	高山　欣也	たかやま　きんや
22	中部	福井県	立野　裕大	たつの　ゆうた
23	九州	長崎県	出口　雅弥	でぐち　まさや
24	西部	山口県	西嶋　拓也	にしじま　たくや
25	東北	福島県	野内　玲	のうち　りょう
26	関東甲信越	埼玉県	平井　昭寿	ひらい　てるよし
27	西部	島根県	山根　秀斗	やまね　しゅうと
28	北海道	北海道	三上　浩平	みかみ　こうへい
29	西部	広島県	三原　隆太	みはら　りゅうた
30	関東甲信越	茨城県	宮城　正夫	みやぎ　まさお
31	九州	熊本県	安武　稔明	やすたけ　としあき
32	関東甲信越	茨城県	村田　豊	むらた　ゆたか
33	中部	愛知県	柳原　大貴	やなぎはら　だいき
34	西部	岡山県	山下　大輔	やました　だいすけ
35	九州	熊本県	渡邉　敦史	わたなべ　あつし

参加選手ゼッケン番号（NYAC）

NYAC	ブロック	都道府県	氏名	ふりがな
1	関東甲信越	新潟県	伊林　佑磨	いばやし　ゆうま
2	中部	愛知県	岡田　光司	おかだ　こうじ
3	関東甲信越	神奈川県	永徳　太	えいとく　ふとし
4	北海道	北海道	片野　裕勝	かたの　ひろかつ
5	中部	石川県	上内　和法	かみない　かずのり
6	関東甲信越	東京都	中込　公一	なかごめ　こういち
7	西部	滋賀県	塚本　健太郎	つかもと　けんたろう
8	東北	岩手県	粒来　雄貴	つぶらい　ゆうき
9	関東甲信越	茨城県	坪井　典之	つぼい　のりゆき
10	中部	三重県	橋本　直明	はしもと　なおあき
11	関東甲信越	東京都	桃原　正男	ももはら　まさお
12	中部	富山県	山田　陽平	やまだ　ようへい
13	関東甲信越	茨城県	野溝　顕司	のみぞ　けんじ

16. 富士教育訓練センター会場

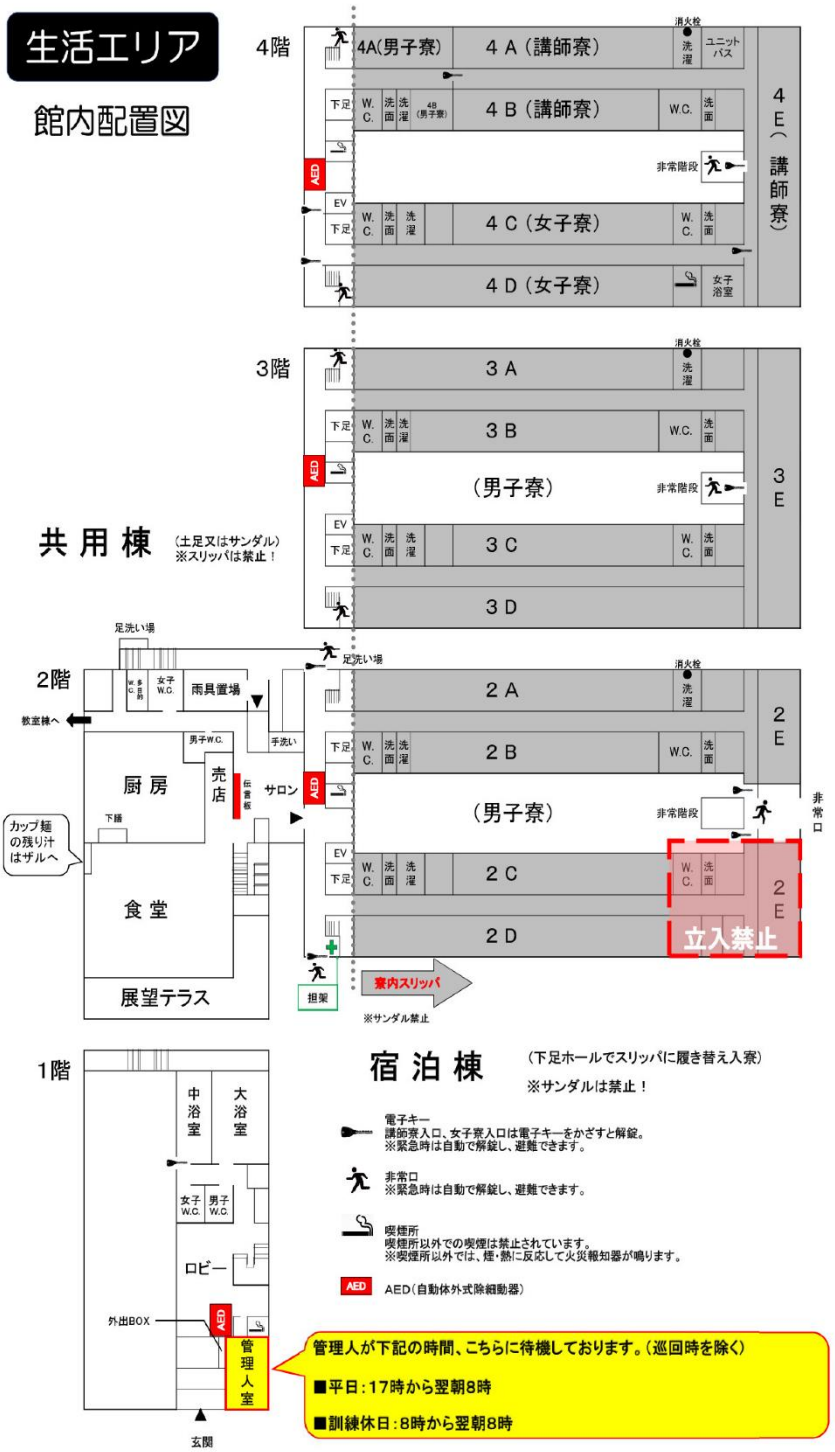
２２時に各所ドアが
オートタイマーにより施錠されます。
敷地内にいても棟内（共用棟・宿泊棟）へ
入れませんのでご注意ください。
（入れなくなってしまった場合は管理人室へ）

フラワートイレットの
使用方法・暗証番号は、
女子寮廊下にある掲示板に
掲示してあります。

2

生活エリア

館内配置図


4階
4A(男子寮)
４Ａ（講師寮）
消火栓
洗濯
ユニットバス
下足
W.C.
洗面
洗濯
4B（男子寮）
４Ｂ（講師寮）
非常階段
AED
EV
４Ｃ（女子寮）
４Ｄ（女子寮）
女子浴室
４Ｅ（講師寮）
3階
３Ａ
３Ｂ
（男子寮）
３Ｃ
３Ｄ
３Ｅ
共用棟
（土足又はサンダル）
※スリッパは禁止！
足洗い場
2階
雨具置場
女子W.C.
教室棟へ
男子W.C.
手洗い
厨房
売店
伝言板
サロン
下膳
カップ麺の残り汁はザルへ
食堂
展望テラス
２Ａ
２Ｂ
２Ｃ
２Ｄ
２Ｅ
非常口
立入禁止
担架
案内スリッパ
※サンダル禁止
1階
中浴室
大浴室
女子W.C.
男子W.C.
ロビー
外出BOX
管理人室
玄関
宿泊棟
（下足ホールでスリッパに履き替え入寮）
※サンダルは禁止！
電子キー
講師寮入口、女子寮入口は電子キーをかざすと解錠。
※緊急時は自動で解錠し、避難できます。
非常口
※緊急時は自動で解錠し、避難できます。
喫煙所
喫煙所以外での喫煙は禁止されています。
※喫煙所以外では、煙・熱に反応して火災報知器が鳴ります。
AED
AED(自動体外式除細動器)
管理人が下記の時間、こちらに待機しております。(巡回時を除く)
■平日：17時から翌朝8時
■訓練休日：8時から翌朝8時